保険毎日新聞　2008年(平成20年) 4月18日(金曜日)

NPOセフティマネジメント協会

中国リスクセミナー開催

ブローカーの活用提起

NPOセフティマネジメント協会は東京都千代田区の如水会館で4月10日、中国保険業界の現状と日系進出企業のリスク管理―急成長を続ける中国保険業界の今日・明日―と題してセミナーを開催した。当日は中国大手保険ブローカーの金誠国際保険経紀有限公司の王進（金融法律博士）氏が講演した。

出﨑氏

はじめに出﨑克専務理事（㈱キャプテン代表取締役）が「セフティマネジメント協会では、ここ5年間中国リスクに取り組んできた。中国は劇的に成長・変化しており、特に保険ビジネスは驚くほどの急成長を遂げている。中国の保険の現状と今後を王氏に語ってもらいたい」とあいさつした。

大八木氏（左）と王氏

セミナーでは王氏が次のように述べた。通訳はキャプテンから同ブローカーへ出向中の大八木貴子氏が担当。

◇

中国保険市場には①契約者②保険会社③再保険会社④兼業代理店⑤保険販売員⑥専業代理店⑦保険ブローカー⑧保険査定会社⑨保険監督管理委員会および各地の保監局―の九つの主体がある。

人口は14億人、企業は1000万社と市場は膨大で、大きなリスクを抱えたくないとの考えから保険ニーズは急激に高まっている。

2007年度保険料は21%伸びており、自動車保険の損害率も60%以下の状況だ。

損保は44社、生保は59社、外資保険会社の駐在員事務所は139社に及ぶ。

中国の保険深度（GNPに占める保険料）は2・8%（世界平均8%）、保険密度（一人当たりの保険料）は47米ドル（世界平均512米ドル）といずれも低い。

中国保険市場は、運営コストが高いので、WinWinには強大な保険ブローカーの活用が不可決だ。

中国でのブローカーは2000年に3社が誕生、現在は320社が営業している。比較的営業成績が良好なのは上位30社。

07年では保険料総額に占めるブローカーの貢献割合は約2・4%、団体契約は18%とまだまだ低い。

金融・損保業界の中国リスクセミナー開催

ブローカーの活用提起

NPOセフティマネジメント協会は東京都千代田区の如水会館で4月10日、中国保険業界の現状と日系進出企業のリスク管理―急成長を続ける中国保険業界の今日・明日―と題してセミナーを開催した。当日は中国大手保険ブローカーの金誠国際保険経紀有限公司の王氏が講演した。

はじめに出﨑克専務理事（㈱キャプテン代表取締役）が「セフティマネジメント協会では、ここ5年間中国リスクに取り組んできた。中国は劇的に成長・変化しており、特に保険ビジネスは驚くほどの急成長を遂げている。中国の保険の現状と今後を王氏に語ってもらいたい」とあいさつした。

セミナーでは王氏が次のように述べた。通訳はキャプテンから同ブローカーへ出向中の大八木貴子氏が担当。

◇

中国保険市場には①契約者②保険会社③再保険会社④兼業代理店⑤保険販売員⑥専業代理店⑦保険ブローカー⑧保険査定会社⑨保険監督管理委員会および各地の保監局―の九つの主体がある。

人口は14億人、企業は1000万社と市場は膨大で、大きなリスクを抱えたくないとの考えから保険ニーズは急激に高まっている。

2007年度保険料は21%伸びており、自動車保険の損害率も60%以下の状況だ。

損保は44社、生保は59社、外資保険会社の駐在員事務所は139社に及ぶ。

中国の保険深度（GNPに占める保険料）は2・8%（世界平均8%）、保険密度（一人当たりの保険料）は47米ドル（世界平均512米ドル）といずれも低い。

中国保険市場は、運営コストが高いので、WinWinには強大な保険ブローカーの活用が不可決だ。

中国でのブローカーは2000年に3社が誕生、現在は320社が営業している。比較的営業成績が良好なのは上位30社。

07年では保険料総額に占めるブローカーの貢献割合は約2・4%、団体契約は18%とまだまだ低い。

日本任保険ブローカーなどの会社が見込み潜在顧客を確保するためにサービス係を専任担当者をリーダーとするプロジェクトを新規参入した。

日本損保、三井ダイレクト・損保ジャパンダイレクトなどの通販チャネル、ダイレクトを専任担当者をリーダーとするプロジェクトを新規参入した。